

令和元年度(2019年度)

管理事業名	非核平和都市宣言事業				総合計画の体系	大綱 1 人権・市民自治 政策 1 平和と人権を尊重するまちづくり 施策 1 非核平和への貢献
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 17 人権費
部局名	市民部	予算執行所屬	人権平和室 (人権政策室)			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】 昭和58(1983)年に行われた非核平和都市宣言に掲げる核兵器廃絶や恒久平和の実現に向け、市民の平和意識の高揚を図ること。 【概要】 非核平和都市宣言事業(市民平和のつどい開催に関すること。非核平和都市宣言の理念の発信に関すること。平和祈念資料館の管理運営及び企画展実施に関すること。)						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
平和祈念資料館利用者数及び市民平和のつどい事業参加者数	人	49,223	42,843	42,209	平和祈念資料館来館者数(令和元年度 8,839人) 平和祈念資料館主催事業の参加者数(令和元年度 377人) 平和祈念資料館所蔵資料(図書を除く)貸出による館外での利用者数など(令和元年度 32,833人) 市民平和のつどい平和に関する催しの来場者数(令和元年度 160人) 市民平和のつどい非核平和資料展の来場者数(令和元年度 計測不可)
平和祈念資料館の所蔵資料貸出件数	件	59	50	50	平和祈念資料館の所蔵資料貸出件数(図書を除く)
成果の説明	市内の学校や幼稚園・保育園等への積極的な広報活動に継続して取り組んでいます。平和祈念資料館の主催事業を工夫しながら、幅広い啓発活動を行っています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	33	30	21	△9
経常収入 小計(a)	33	30	21	△9
給与関係費	35,067	34,806	30,400	△4,406
物件費	9,369	10,872	9,976	△896
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
経常費用				
負担金・補助金・交付金等	263	164	134	△30
特別会計への繰入金	-	-	-	-
減価償却費	1,603	1,603	1,603	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,880	1,959	1,976	17
退職手当引当金繰入額	1,690	1,688	△31	△1,720
支払利息	3,292	3,069	2,853	△216
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	53,164	54,161	46,911	△7,250
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△53,131	△54,130	△46,889	7,241
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△53,131	△54,130	△46,889	7,241
一般財源充当額	63,064	63,987	58,229	△5,758
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	9,934	9,857	11,339	1,483

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	非常勤職員の退職及び変更による3,422千円の減。
物件費	非核平和都市宣言記念事業関係経費761千円、光熱水費130千円の減。
負担金・補助金・交付金等	非核平和都市宣言記念事業報償費22千円及び非常勤職員の退職に伴い、特定退職金共済制度負担金、勤労者福祉共済制度負担金70千円の減。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	33	30	21	△9
行政サービス活動支出	51,865	52,882	47,018	△5,864
行政サービス活動収支差額	△51,832	△52,851	△46,996	5,855
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	97	-	△97
財務活動支出	11,233	11,233	11,233	-
財務活動収支差額	△11,233	△11,136	△11,233	△97
収支差額合計	△63,064	△63,987	△58,229	5,758
一般財源充当額	63,064	63,987	58,229	△5,758
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(財務活動支出)平和祈念資料館負担分土地家屋購入に要した経費の返済債務 11,233千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
参加者1人あたりのコスト	平成29年度	49,233人	1,080円	参加者1人あたり1,111円のコストがかかっています。前年度に比べてコストが下がっているのは、給与関係費、物件費が減少したためです。
	平成30年度	42,843人	1,264円	
	令和元年度	42,209人	1,111円	
市民1人あたりのコスト	平成29年度	370,072人	143円	令和2年3月31日現在の吹田市人口の市民1人あたり、125円のコストがかかっています。前年度に比べてコストが下がった主な要因は、吹田市の人口が増加したこと、給与関係費、物件費等が減少したためです。
	平成30年度	371,030人	146円	
	令和元年度	373,978人	125円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	13,192	13,220	28
未収金	-	-	-	地方債	-	11	11
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,959	1,976	17
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	11,233	11,233	-
有形固定資産	64,819	63,216	△1,603	固定負債	154,829	141,859	△12,971
土地	-	-	-	地方債	97	86	△11
建物・工作物	64,819	63,216	△1,603	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	19,942	18,214	△1,727
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	74	74	-	その他固定負債	134,791	123,558	△11,233
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	168,021	155,078	△12,943
土地	-	-	-	純資産	△103,128	△91,789	11,339
建物・工作物	-	-	-	重要物品	0	0	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	0	0	-	投資その他の資産	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
基金	-	-	-	基金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
その他債権	-	-	-	その他債権	-	-	-
資産の部合計	64,893	63,290	△1,603	純資産の部合計	△103,128	△91,789	11,339
				負債及び純資産の部合計	64,893	63,290	△1,603

Ⅲ 財務構造分析

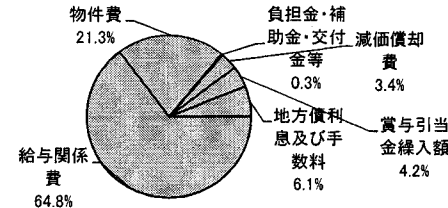
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
	2.93	人	2.75	人		
給与関係費等	23,959	千円	8,385	千円		32,344
内、時間外勤務手当	1,059	千円				

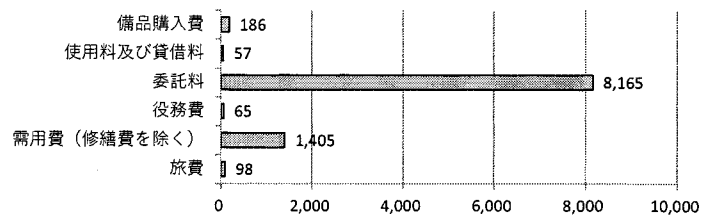
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用建物	平和祈念資料館の減価償却費による減 1,603千円
その他固定負債	平和祈念資料館負担分土地家屋購入に要した経費の返済債務 11,233千円
無形固定資産(事業用資産)	電話加入権 74千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立平和祈念資料館
取得年月日	平成24年(2012年)6月30日
建物・工作物の取得価額	75,641 千円
建物・工作物の減価償却累計額	12,425 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		-	-	-	-
施設老朽化比率		12.2	14.3	16.4	2.1
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.9	99.8	100.0	0.2
経常費用対公共資産比率		70.3	71.6	62.0	△ 9.6

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

[貸借対照表]

その他流動負債、その他固定負債は千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)の土地家屋取得に要した経費に係る債務です。

[行政コスト計算書]

経常費用の主なものは、給与関係費64.8%と物件費の約77.2%を占める千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)の施設管理委託料7,699千円で、経常費用の約81.2%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

PF1事業で平成24年度に取得した千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)の土地家屋購入に要した経費の返済債務については、令和13年度までの20年の償還期間です。

平和に関する事業のうち、平和祈念資料館については、令和元年度は来館者数が増加しました。これは、企画展、平和映画会への参加者増によるものです。さらに、語り部を活用した取り組みをはじめとする事業を充実させ、また、実物資料の貸出を活用してもらった地域や団体における平和への取り組みの促進など、一層事業を充実させることにより、利用者の増加を図るとともに、資料館以外で行われる平和の取組みを推進していくなど、さらに工夫をした幅広い取り組みを行っていく必要があります。

平和祈念資料館の入居する千里ニュータウンプラザは、平成24年に開設された建物のため、老朽化はまだ問題になっていませんが、計画的に維持補修をすることで施設の長寿命化を図ることも重要であると考えています。複合施設であり、単独での大規模な修繕等は不可能ですが、全体的な修繕計画を計るよう引き続き担当所管に要請していきます。